

H29年度議会報告会 (社会文教委員会)

第2分科会 (社会文教委員会)

テーマ	「子育てに最適な地域とは」
テーマに係る課題 (背景)	<p>○国全体では平成20年をピークに人口減少が明らかとなり特に子どもが少なくなった。平成27年4月に子ども・子育て支援新制度が本格スタートした。</p> <p>○飯田市でも平成27年度から「子ども子育て支援法」に基づく「飯田市子ども・子育て支援事業計画」策定し、推進している。</p> <p>○各種子育てサービスの拡充に取り組み、その水準は県内でもトップクラスとなっている。また飯田市の合計特殊出生率は全国的にもトップクラスとなっている。</p> <p>○平成29年度より、保護者や地域の方が学校の運営に参画し、学校・保護者・地域の方が協力して学校をつくりあげていく「飯田コミュニティスクール」が、市内全小中学校で本格的にスタートした。</p> <p>○生まれてから育て学ぶまで切れ目のない支援体制を作り、飯田市の魅力を一段と高めるために、市民の皆様のご意見を伺いたい。</p>
意見交換会で話し合いたい点	<ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニティスクールと地域のかかわりについて 2 児童館、児童クラブについて 3 保育料の軽減について 4 子育て体験から行政の子育て環境を考える 5 ワークライフバランスの普及はどうか

飯田コミュニティスクール



平成 29 年 10 月 飯田市教育委員会

飯田市では、平成 23 年度から 9 つの中学校区ごとに「小中連携・一貫教育」を導入し、義務教育 9 年間の一貫性をもって「学力・体力の向上」や「人間関係づくり」を推進してきました。今まで築きあげてきたこの「小中連携・一貫教育」を、これからも持続・発展させていくために、保護者・地域住民と一緒に、同じ目標に向かって教育活動を進めていく仕組みである「飯田コミュニティスクール」を導入し、平成 28 年度中に全ての学校に設置しました。

地域の皆様には、この仕組みをご理解いただき、一人でも多くの方々に、学校運営の応援団になっていただきたいと考えています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

Q1: 飯田コミュニティスクールとは何ですか？

A: コミュニティスクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のことです。

学校、保護者、地域を代表する皆さんなどが構成員となり、どのような子どもたちを育てるのが話し合ったりする場が「学校運営協議会」です。この「学校運営協議会」を設置した学校が、コミュニティスクールです。

: 地域住民による善い「学校づくり」が、善い「地域づくり」につながっていきます。

飯田市でも人口減少、街の活性化は喫緊の課題です。学校を元気にするためだけでなく、地域を元気にするためにもコミュニティスクールの仕組みは有効です。善い学校づくりに向けて、学校、保護者、地域住民が共に活動することで、善い地域づくりにつながっていきます。

Q2: 学校運営協議会ができて、今までと何が変わりますか？

A: 学校運営の基本的な方針を、学校運営協議会で「承認」します。

学校運営協議会では学校の基本的な方針（グランドデザイン）の「承認」を行います。承認を行うことで、学校運営に対する当事者意識を分かち合い、ともに行動する体制をつくります。

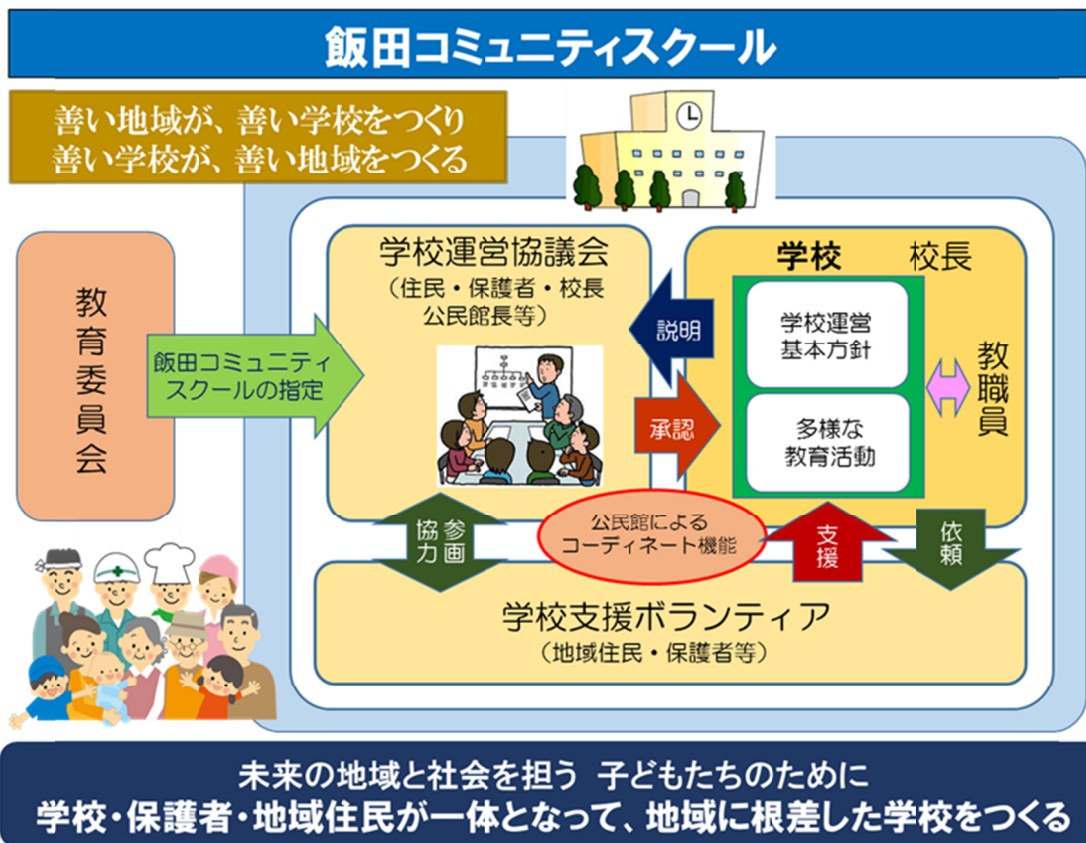
また、委員は「承認」という具体的な権限を有していることから、非常勤の特別職の地方公務員としての職責を担います。

: 学校評議員制度を廃止し、その機能は、学校運営協議会に引き継がれます。

: 小中連携・一貫教育をより実りあるものに推進していきます。

③





◆飯田コミュニティスクールの3つの機能

① 学校運営への参画・承認	育てたい子ども像や学校の目標・課題について話し合い、校長が作成する学校運営の基本的な方針を承認します。
② 学校評価	学校が行う自己評価について学校関係者評価を行います。 ※学校評議員制度は廃止し学校運営協議会に一体化します。
③ 学校支援	学校支援ボランティアを組織化し、継続的、計画的に学校の教育活動を支援、応援します。



Q3: 教育の専門家でない市民が、教育方針を“承認”をしいのですか？

A: 専門家でないからこそ、意義があるのです。

学校が抱える課題は多岐にわたっており、教育の専門家である学校だけですべてを解決できる状況ではありません。専門家の意見だけでなく市民の感覚を大切にし、地域や保護者の視点で学校運営を考えてみるからこそ、意義があります。

さらに、「承認する」とは、同じ仲間として理解し責任を持ちますという意味表示で、学校の先生方と共に、地域の子どもたちを育てる当事者となることを意味します。

Q4: 飯田コミュニティスクールの“飯田”には、何か特徴があるのですか？

A: “飯田”コミュニティスクールは、国(文科省)型と信州型の「いいとこどり」です。

国の進める「コミュニティ・スクール」は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(*)に基づいて教育委員会が設置します。従って、コミュニティスクールに関わり何か問題が生じた場合、最終的に教育委員会が責任をとることが規則に明文化されているため、責任の所在が明確になります。一方、長野県の進める「信州型コミュニティスクール」は、運営委員会という組織をつくるだけでよく、その役割も「学校運営への参画、学校評価、学校支援」と取り組みやすいものとなっています。飯田市では、国型を基本としながら信州型のよさを取り入れました。

A: 公民館館長もしくは主事が、できる限り、コーディネーター役になります。

委員にコーディネーター役として、公民館館長もしくは主事が入ります。他の地域にはみられない、これまでの飯田市の取組のよさを取り入れた、飯田コミュニティスクールの最大の特徴です。

◆国(文科)型、飯田、信州型コミュニティスクールの特徴

	国(文科)型	飯田	信州型
①学校運営方針の承認(*)	○	○	—
職員任用への意見具申(*)	○	—	—
②学校評価	—	○	○
③学校支援	—	○	○
協議会の委員の構成	—	公民館館長(主事)	—

①②③は、飯田コミュニティスクールの3つの機能

【写真】小中連携・一貫教育の取組から

- ① 遠山中学校区(小中交流会)
- ② 旭ヶ丘中学校区(小学生一日入学)
- ③ 飯田東中学校区(りんご並木合同作業)
- ④ 竜東中学校区(よこね田んぼの田植え)
- ⑤ 緑ヶ丘中学校区(中学教員の出前授業)
- ⑥ 飯田西中学校区(あいさつ運動)
- ⑦ 高陵中学校区(生徒会から呼びかけ)
- ⑧ 竜峡中学校区(小小合同社会見学)
- ⑨ 鼎中学校区(小中合同ボランティア)

小中連携・一貫教育

「探索期」から「深耕期」3年目、「質」の充実を追求しています。



Q5: 飯田コミュニティスクールと小中連携・一貫教育の関係は？

A: 義務教育9年間、さらに幼保小中の連携の中で、学力・体力の向上と、よりよい人間関係づくりを目指す飯田市小中連携・一貫教育と飯田コミュニティスクールの取組は、一体のものです。

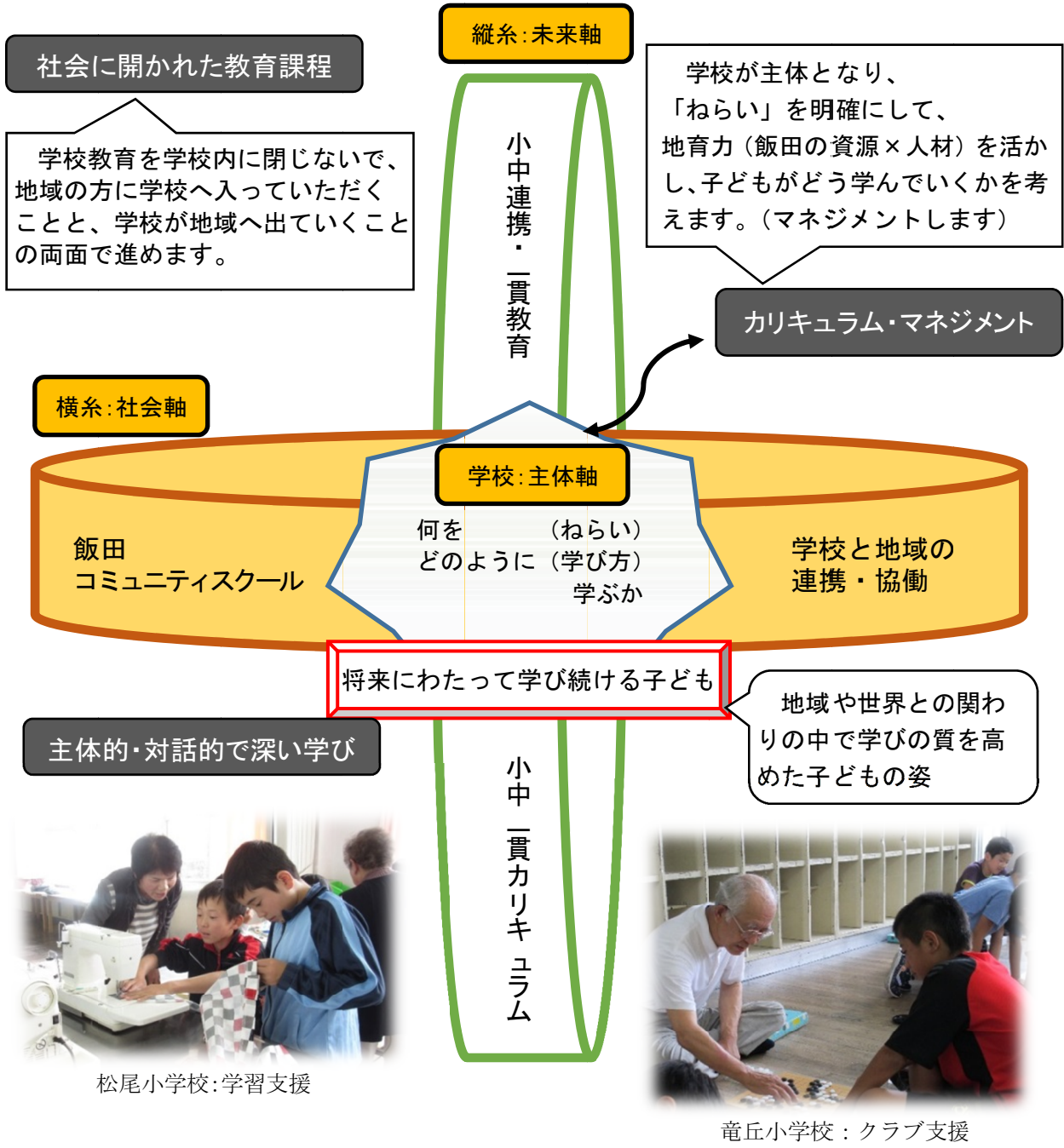
飯田コミュニティスクールと小中連携・一貫教育の関係

■ これからの学校教育の目指す姿*

* 中教審答申(平成 27 年 12 月)

- 「地域とともにある学校」への転換
- 「子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制」の構築

今回の学習指導要領改訂のキーワード



Q6: 飯田コミュニティスクールが、地域にお願いしたいことは何ですか？

A: 学校運営や教育活動に積極的な参画をし、学校の応援団になってください。
 学校運営協議会の委員の方々はもちろん、その方々にも、学校支援ボランティアなどとして、一人でも多くの方々に関わっていただけますよう、よろしく願いいたします。

放課後児童クラブ、放課後子ども教室について

1 放課後児童クラブ

保護者が放課後の時間帯に労働等で留守になる家庭の児童に対する生活の場として、児童館2か所、児童センター5か所、児童クラブ15か所を運営しています。

(1) 子育て応援プランに基づく児童クラブの充実

子育て応援プラン（計画年度：平成27年度から平成31年度）に基づく数値目標としては、放課後児童クラブの定員を飯田市全体で、計画策定時の見込み880人を平成31年度までに970人にする目標を掲げています。

平成29年5月1日現在930人（民間施設50人を含む）ですが、目標達成に向けて施設整備や児童支援員確保等に取り組んでいます。

また、平成29年度より開所時間を30分延長し18時30分までとしました。開所時間の延長により、18時過ぎまで働くことが可能となり、子育て支援が充実しました。

(2) 放課後児童クラブの現状

受け入れた子どもは、児童支援員が中心となって見守ります。児童の安全確保を第一に、主として遊びを通じた自主性、社会性、創造性の向上に努めています。

児童支援員は、勉強会や研修会、講演等を通じて常に資質の向上に努めています。

子どもたちは、保護者が迎えに来るまでの時間を、遊びを中心に、読書・けん玉・折紙・工作などで楽しく過ごしています。

(3) 放課後児童クラブの課題

放課後児童クラブは、放課後児童の健全育成を目的に運営しています。定員の拡大や開所時間の延長に伴い、施設整備や児童支援員の確保が課題となっています。

2 放課後子ども教室

放課後や週末等に小学校の余裕教室等を利用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の皆さんの参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域の方々との交流活動等の取り組みを実施しています。

(1) 放課後児童クラブと放課後子ども教室

国は、保護者が労働等で留守になる家庭の児童を対象にしている放課後児童健全育成事業（厚労省所管）と、放課後子どもプラン推進事業（文科省所管）による放課後子ども教室を一体的に学校の空き教室を活用して実施するよう推進しています。

しかし、放課後児童クラブは、保護者が労働等で留守になる家庭の児童を対象としています。放課後子ども教室は、すべての子どもを対象に、地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する取り組みであり、対象者も目的も異なるため飯田市では全く別の事業として運営しています。

(2) 放課後子ども教室の現状

放課後子ども教室は、文科省の生涯学習部門の所管で、市内5小学校区（丸山・竜丘・下久堅・追手町・座光寺）で実施しています。

(3) 放課後子ども教室の課題

5地区共通の課題は、スタッフの不足や高齢化、多様なプログラムを実施するための企画・指導者の確保、運営側と参加者側双方の安全と保険・補償の問題、スタッフへの謝礼等費用弁償などです。国県補助事業ですが、年々減額されています。

子育て応援プランでは、事業の拡充を目標としています。運営には、地域が主体で持続可能な仕組みづくりが必要となっています。

放課後児童クラブ（児童館・児童センター・児童クラブ）

児童館名	定員	登録児童 29.5.1	所在地	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	建物構造	開設年月日
別府児童館	30	30	上郷別府 1195	606.40	265.95	木造2階建	S52.4.1
高松児童館	40	47	上郷黒田 238-1	1,328.00	337.77	鉄骨造2階建	S58.4.1
竜丘児童センター- 竜丘児童センター-第2	70	67	桐林 245-1	1,358.41	370.08	鉄骨造2階建 (1階部分竜丘柔道場内)	S62.4.1 H29.4.1 分割
丸山児童センター- 丸山児童センター-第2	80	79	今宮町2 113-1	874.00	378.20	鉄骨造2階部分 (丸山小学校体育館併設)	H1.4.1 H27.4.1 分割
座光寺児童センター	50	33	座光寺 1726-1	1,076.00	309.32	鉄骨ブロック造平屋建	H3.4.1
山本児童センター	50	47	竹佐 693-1	1,354.51	307.92	鉄骨ブロック造平屋建	H12.4.1
鼎児童センター	50	49	鼎中平 2451-9	793.95	344.20	鉄骨造平屋建	H12.4.1
下久堅児童クラブ	30	25	下久堅知久 平118-1		101.52	木造平屋建	H9.4.1
松尾第1児童クラブ 松尾第2児童クラブ	100	107	松尾城 4014	1,529.00	863.33	木造一部2階建 (松ぼっくり内)	H9.5.17 H22.4.1 分割
龍江児童クラブ	25	27	龍江 3539		78.88	木造平屋建	H9.8.18 H22.4.1 移転
橋南児童クラブ	25	17	追手町1 25-1	124.20	56.28	木造平屋建 (旧職員住宅)	H10.6.1
浜井場児童クラブ	25	23	小伝馬町1 3503		67.59	鉄筋鉄骨コンクリート造 (浜井場小学校内)	H13.9.1
伊賀良第1児童クラブ 伊賀良第2児童クラブ	100	98	大瀬木 1106-1	922.24	533.29 132.49	木造平屋建 (かさまつのと内)	H16.4.1 H22.4.1 分割
川路児童クラブ	25	22	川路 3457-1		299.81	鉄骨造平屋建 (ハートビル川路紫雲館)	H17.4.1
上久堅児童クラブ	10	34	上久堅 7606		43.74	鉄骨造平屋建 (上久堅保育園内)	H18.4.1
三穂児童クラブ	20	21	伊豆木 3778		45.00	鉄骨造平屋建 (三穂小学校体育館内)	H18.4.1
切石児童クラブ	30	20	鼎切石 4635-1	401.04	88.39	木造平屋建 (切石児童学習交流センター)	H18.4.1
上郷児童クラブ	40	37	上郷飯沼 3118		265.14	鉄筋コンクリート造 (上郷小学校敷地内)	H19.4.1
鼎児童クラブ	40	35	鼎中平 1958-3		148.8	鉄筋コンクリート造 (鼎コミュニティ防災センター)	H20.4.1
松尾第3児童クラブ	40	44	松尾城 3800-1		300.29	鉄骨造平屋建 (旧松尾保育園未満児棟)	H22.4.1 H26.1.8 移転

放課後子ども教室

教室名	学校区	事業目的・理念	主な活動内容	実施日等	開設年
青空 スクール	丸山 小学校	心豊かでたくましい子どもを地域全体で育むため、小学校体育館・グラウンド・公民館などの施設を活用し、保護者や地域の皆様の協力をいただきながら、放課後や休日に安心して安全な子どもたちの居場所づくりをする。	スポーツ (ミニサッカー、バドミントン、ドッジボール等) 体験活動 (生け花、絵はがき等)	第1・2・3・4 水曜日 学期1回土曜日 または日曜日	平成 19年度
丘の子 YOU 遊	竜丘 小学校	地域の人材、資源を活かしたさまざまなスポーツ活動、文化活動、体験活動を取り入れながら、児童が楽しく遊び、学び、触れ合うことを通して、自主性や社会性、創造性を育む。 ・子どもたちが自主的に遊べるような環境づくりに努めていく。 ・家庭、学校、地域の団体などできるだけ多くの大人に協力、参加を働きかける。 ・教室を通じて、参加する大人たちが一体となり、地域づくりにつなげていく。	スポーツ (野球、卓球、スポーツ吹き矢等) 体験活動 (木工、陶芸、料理、自然観察、けん玉等)	毎週水曜日	平成 19年度
下久堅 放課後 子ども教室	下久堅 小学校	放課後等に小学校の施設などを活用して地域の方々や保護者の方々の協力を得ながら、安全・安心な居場所づくりを目指すとともに親たちが安心して働ける環境づくりの一助を目指した教室です。 また、地域の人材、資源を活かした様々なスポーツ活動・文化活動・体験活動を取り入れながら、児童が楽しく遊び、学び、触れ合うことを通じて、自主性や社会性、創造性を育むこと、そして地域住民との結びつきの向上を目指していく。	自由遊び、料理教室、ニュースポーツ、環境講座、おやす作り、読み聞かせ、科学工作教室	毎週 月・火・木・金	平成 20年度

教室名	学校区	事業目的・理念	主な活動内容	実施日等	開設年
追手町小学校放課後子ども教室	追手町小学校	心豊かでたくましい子どもを地域全体で育むため、小学校講堂・グラウンド・公民館などの施設を活用し、保護者や地域住民の参画のもと、安全・安心な子どもの活動拠点として、地域の人材、資源を活かした遊び、学び、体験活動を行い、子ども達が自主性や社会性、創造性を育んでいけるような教室にする。	遊び (長縄飛び、腕ずもう、ドッジボール、バスケットボール等) 体験活動 (水引体験、マイ箸作り)	平日 第1・3水曜日 夏休み期間中	平成 21年度
麻績の里体験学校	座光寺小学校	子どもたちの健全な成長こそ地域の願い。智恵豊かに、健康な身体と困難に打ち克つ強い心、そして豊かな感性を持って成長することを住民は強く願っている。 そのために、地域の人材、資源を生かした様々な体験活動の場を設け、異年齢の仲間や多くの支援者と共に学び合う体験を通して、豊かな感受性と逞しい行動力、ふるさとへの愛着や誇り、そして自信や社会性など、生きる力を育みたい。	体験活動 (お茶摘み体験、山菜の採取、ほたる観察、星空観察、水生生物観察、科学工作) 子ども桜ガイド	土曜日、日曜日	平成 22年度

※ 実施日は平成 28 年度の実績です。

(資料提供：飯田市教育委員会 学校教育課)

飯田市 合計特殊出生率の推移

年		飯田市		長野県	国
		出生数	合計特殊出生率	合計特殊出生率	合計特殊出生率
平成 7年	1995	1,072	1.72	1.64	1.42
8年	1996	1,035	1.62	1.58	1.43
9年	1997	1,072	1.68	1.56	1.39
10年	1998	1,118	1.74	1.57	1.38
11年	1999	1,114	1.74	1.52	1.34
12年	2000	1,094	1.68	1.59	1.36
13年	2001	1,089	1.66	1.50	1.33
14年	2002	1,066	1.65	1.47	1.32
15年	2003	1,053	1.66	1.44	1.29
16年	2004	1,013	1.62	1.42	1.29
17年	2005	955	1.52	1.46	1.26
18年	2006	980	1.63	1.44	1.32
19年	2007	998	1.70	1.47	1.34
20年	2008	965	1.70	1.45	1.37
21年	2009	919	1.69	1.43	1.37
22年	2010	898	1.70	1.53	1.39
23年	2011	878	1.63	1.50	1.39
24年	2012	870	1.68	1.51	1.41
25年	2013	858	1.73	1.54	1.43
26年	2014	846	1.76	1.54	1.42
27年	2015	828	1.77	1.58	1.46
28年	2016				

飯田ならではの 上質な子育て環境

自然との共生から 「信州やまほいく」認定へ!

飯田市の保育園では、自然豊かな環境を生かした自然体験や食農体験など、子どもたちが自然に触れる機会をたくさん用意し、生きる力を育てています。この取り組みは、長野県が自然保育を中心に保育の質を高めるために進めている「信州やまほいく」と同じ取り組みです。今年度飯田市の公立保育園全園で「信州やまほいく」の認定を取得する予定です。



「ふるさとー海外」を グローバルに捉える 人材育成「LG(地域・地球)飯田教育」

飯田市では、「地球規模で考え地域で実践し、地域を想い地球規模で活躍できる人材」を育てため、「LG飯田教育」(Local(地域)とGlobal(地球)を、一体的、系統的に学ぶ、飯田市独自の教育実践)に取り組んでいます。

高校生講座「カンボジア・スタディツアー」では、生まれ育ってきた地域を改めて見つめ直す事前学習や、1週間のカンボジアでの現地研修を通じ、高校生たちが自分らしさや在り方を考え、自分の将来を見つめる機会として取り組んでいます。



「地育力」を活用した 学びあい!

飯田市では、地域への誇りと愛着を持つ子どもを育てるために、地域の人材と自然・文化・歴史・産業などのさまざまな地域の資源とが組み合わせられて生まれる「地育力」を活用し、学習活動を展開しています。一例として「南信州飯田おもしろ科学工房」では、地域の方がボランティアで小中学校や公民館行事などに出向き、「子どもたち自らが体験することにより、科学の不思議の心を抱かせ、興味や関心を高めること」を目的に活動しています。



子育てのために飯田へIターン!

名古屋で暮らしていましたが、子どもが小児喘息と診断されたため、空気がきれいな上村地区へ移住しました。移住してから子どもの症状はすぐ改善し、大自然の中でのびのびと成長しています。移住後は地域の方が積極的に接してきてくれ、いつの間にか関わりが深くなっていました。地域の皆さんがみんな子どもを育ててくれている感覚が飯田にはあり、都会での暮らしでは感じられない安心感があります。



みうら なつき
名古屋出身 三浦 七月さん



飯田市独自の支援がたくさん!

※【支援内容】の太字の項目は飯田市独自の支援事業です。

高校・大学

進学による
金銭的負担を軽減します。

【支援内容】

奨学金制度 など



小・中学校

各家庭の多様化した
ライフスタイルに沿って支援します。

【支援内容】

児童館・センターの充実、**準要保護者給食費補助** など



保育料はこんなに軽減!

飯田市では
国で定められて
いる保育料
を25%程度一
括で軽減し、
独自の保育料を設定しています。

多子世帯保育料軽減率	
第3子	50%
第4子	70%
第5子～	100%

また、3人以上の子どもを育てる多子世帯の負担を軽減するため、さらに保育料を軽減しています。



保育所・認定こども園

2人目3人目でも安心して
子育てできるように
市独自に保育料を軽減します。
また、仕事と家庭の両立を支援します。

【支援内容】

保育料軽減、乳児・延長・休日保育、
一時預かり、病児保育、**ファミリーサポートセンター** など



子ども医療費は高校世代まで負担軽減!

0歳から18歳到達年度
末までの医療費（保険適用
医療費の自己負担額）につ
いては、子ども福祉医療費
給付制度によって助成され
ます※。

飯田市は平成28年、県下
19市に先駆けて、高校世代
まで対象を拡大しました（それまでは中学校卒業まで）。

※一診療報酬明細書（レセプト）ごとに必要な受給者負担金500円は個人負担です。



ファミリーサポートセンターが便利!

「子どもの預かりを頼みたいけど、誰にも頼めない!」こんなことで
困っていませんか?そんなとき、協力していただける方の自宅で子ども
さんを預かります。いつでも利用可能です。事前の登録が必要です。

★対象年齢：生後3カ月～12歳

★利用時間・金額：午前7時～午後8時…600円/時間
午前7時～午後8時以外…700円/時間

★申し込み・問い合わせ

飯田市ファミリーサポートセンター（飯田市社会福祉協議会内）

☎0265(53)3181

「ゆいきっず」でなんでも相談! 楽しく子育て!

飯田市こども家庭応援センター「ゆいきっず」は、子育ての悩み相談や情報交
換など、子育て世代が気軽に集える場
です。また、子どもの発達に関する相談
を受ける専門スタッフも在籍していま
す。このほかにも、市内に12カ所あるつど
いの広場や、公民館などで行われる子
育てサークルなど、飯田市には親子の居
場所がたくさんあります。



パパだって子育て！

これからはじまる子育て。「パパは何をしたらいいの?」そんなパパのために育児応援ハンドブック「いいだパパナビ」を発行しました。

市内のパパママが自ら制作に携わり、パパだからこぞできることや、市内で役立つ子育て情報などを掲載。飯田のパパ必見の1冊です!



乳幼児期

親、家族、地域にとって子どもの成長が楽しみな時期。市の支援も充実しています。

【支援内容】

民生児童委員のおめでとう赤ちゃん訪問、こども家庭応援センター「ゆいきっず」、つどいの広場、保健師の訪問、乳幼児健診・相談、各地区の乳幼児学級、離乳食講座、授乳相談費用助成、絵本のプレゼント など

合計特殊
出生率1.76
県内トップクラス!
※H26現在



妊娠・出産

「赤ちゃんが欲しい」の願いに寄り添います。
また、すこやかな妊娠と出産のための支援をします。

【支援内容】

不妊・不育相談と治療費助成、母子手帳交付時の保健師相談、妊婦健診費助成、パパママ教室、オリジナル子育て情報誌(子育てナビ、パパナビ)配布、車用ステッカーの配布、オリジナル出生届 など

いいだっ子が
大人になるまで
の支援



結婚

パートナー探しをお手伝いします。

【支援内容】

婚活イベント、結婚相談事業など



ハイクオリティ! 子育てシティ!

子どもほしいけど、

子育てって不安がいっぱい。

そんな思いのあなた、大丈夫!

ここは**結いのまち飯田**!

あなたの子育て、みんなで助けます!

そして目指すは**ハイクオリティ子育て**!

人も自然も豊かなこのまちで、

生きる力を育む質の高い子育て。

始めてみませんか?

問い合わせ

◎妊娠・出産・子どもの健康に関すること
保健課 内線5306

◎保育に関すること
子育て支援課 内線5741

◎子どもの医療費助成に関すること
保健課 内線5525

◎小・中学校、奨学金に関すること
学校教育課 内線3711

◎子どもの相談に関すること
こども家庭応援センター 内線5343



※飯田では皆で助け合いながら農作業をしてきた(これを結いといいます)ことから、「結いの田」が飯田の語源とされています。
昔から人と人とのつながりを大切にしている地域です。